

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2020年1月29日

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3658 URL https://corp.ebookjapan.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 将峰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 阿部 逸人 (TEL) 03 (3518) 9544  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,176	48.3	529	△18.6	526	△18.8	360	51.2
2019年3月期第3四半期	10,231	—	650	—	648	—	238	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2020年3月期第3四半期	64	64	63	20				
2019年3月期第3四半期	42	84	41	61				

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,953	3,600	44.9
2019年3月期	7,202	3,400	46.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,567百万円 2019年3月期 3,367百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	19,000	28.5	750	28.6	750	26.4	450	170.9	80	18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	5,678,600株	2019年3月期	5,612,600株
2020年3月期3Q	80,421株	2019年3月期	151株
2020年3月期3Q	5,577,359株	2019年3月期3Q	5,564,579株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、米中貿易摩擦等を受けて、世界経済の減速懸念が広がり先行きは不透明な状況で推移しております。

電子書籍を取り巻く事業環境は、引き続き競合各社による激しい競争が続いているものの、特に電子コミックにおいては消費者による認知ならびに利用の拡大が続いており、市場規模は大きく伸長しています。2019年上半期(1月～6月期)の電子出版市場は、前年比22.0%増の1,372億円、当社が主力と位置付ける電子コミックの推定販売額は同27.9%増の1,133億円となるなど成長を続けています(出所:公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所「出版月報」2019年7月号)。

当社は、このような事業環境のもと、2016年6月に資本業務提携したヤフー株式会社(以下、ヤフー)との事業連携を積極的に推進しております。当社とヤフーが協力して運営する電子書籍販売サービス「ebookjapan」においては、Yahoo! JAPANトップページと連携したユーザー獲得施策の実施や、Yahoo!プレミアム会員向けのポイントキャンペーンを拡充したほか、ソフトバンクグループ株式会社、ソフトバンク株式会社及びヤフーの3社が共同出資するPayPay株式会社のスマートフォン決済サービス「PayPay」と連携した販促キャンペーンを展開するなど、グループシナジーの強化に努めました。

また、当第3四半期累計期間も引き続き、新規ユーザー獲得のための広告宣伝、既存ユーザー向けの販促活動に加えて、サービス品質の向上を図るためのプロダクト改善など、成長市場におけるシェアの拡大を目指して、積極的な投資を推進してまいりました。

以上の取り組みを行った結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高15,176,423千円(前年同期比48.3%増)、営業利益529,554千円(前年同期比18.6%減)、経常利益526,432千円(前年同期比18.8%減)となり、四半期純利益は360,528千円(前年同期比51.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 電子書籍事業

当第3四半期累計期間は、当社とヤフーが協力して運営する電子書籍販売サービス「ebookjapan」へのサービス統合を2019年6月に完了させたことにより、Yahoo! JAPANトップページと連携したユーザー獲得施策の実施や、Yahoo!プレミアム会員向けのポイントキャンペーンの拡充など、ヤフーとの連携強化をより一層推進しました。

また、「PayPay」と連携し、電子書籍をお得に買えるキャンペーンを展開したほか、ソフトバンク、ワイモバイルのスマホユーザー向け販促企画を実施するなど、グループシナジーの強化に努めました。

さらに、Webサービス、アプリサービスともに新規ユーザー獲得のためのマーケティング施策の実施や、大手出版社との連携による販促プロモーションを数多く行うことで売上高の向上に努めました。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の売上高は、11,606,161千円(前年同期比64.3%増)となりました。

#### ② クロスメディア事業

当第3四半期累計期間は、引き続き、大手ECモールにおける紙書籍のネット販売に注力しました。

「Yahoo!ショッピング」においてはヤフーとの連携を強化し、大規模セールを展開する「いい買い物の日」への参画など、販促キャンペーンを多数実施したほか、2019年10月にはPayPayブランドを冠した新しいECサービス「PayPayモール」においても当社のオンライン書店を出店し、売上高の拡大を図りました。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の売上高は、3,570,261千円(前年同期比12.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、7,953,943千円(前事業年度末比750,945千円増)となりました。

資産の内訳は、流動資産が6,534,962千円(同830,144千円増)、固定資産が1,418,981千円(同79,198千円減)であります。流動資産増加の主たる要因は、売掛金が404,293千円増加したことによるものです。固定資産減少の主たる要因は、ソフトウェアが24,940千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、4,353,611千円(同550,654千円増)となりました。主たる要因は、買掛金が476,029千円増加したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、3,600,331千円(同200,291千円増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)通期の業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想の現時点での修正はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,580,103	3,702,738
売掛金	1,865,257	2,269,551
商品	628	650
仕掛品	188	128
貯蔵品	44	47
その他	258,673	561,897
貸倒引当金	△77	△51
流動資産合計	5,704,817	6,534,962
固定資産		
有形固定資産	280,552	247,208
無形固定資産		
ソフトウェア	801,267	776,327
その他	314	245
無形固定資産合計	801,582	776,572
投資その他の資産		
繰延税金資産	100,696	84,788
その他	315,348	310,412
投資その他の資産合計	416,045	395,200
固定資産合計	1,498,179	1,418,981
資産合計	7,202,997	7,953,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,206,844	2,682,874
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	1,016,638	1,048,945
未払法人税等	119,692	96,396
賞与引当金	—	32,231
役員賞与引当金	—	6,181
ポイント引当金	845	41
その他	265,372	353,195
流動負債合計	3,669,394	4,279,867
固定負債		
長期借入金	60,000	—
資産除去債務	73,562	73,744
固定負債合計	133,562	73,744
負債合計	3,802,956	4,353,611

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	872,904	892,704
資本剰余金	1,158,536	1,178,336
利益剰余金	1,336,477	1,697,005
自己株式	△218	△200,353
株主資本合計	3,367,699	3,567,693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150	150
評価・換算差額等合計	150	150
新株予約権	32,190	32,487
純資産合計	3,400,040	3,600,331
負債純資産合計	7,202,997	7,953,943

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	10,231,190	15,176,423
売上原価	7,132,500	9,655,328
売上総利益	3,098,690	5,521,094
販売費及び一般管理費	2,447,755	4,991,540
営業利益	650,934	529,554
営業外収益		
受取利息	11	18
投資事業組合運用益	—	194
不要書籍売却益	112	115
自動販売機収入	—	291
還付加算金	7	—
その他	1	2
営業外収益合計	132	622
営業外費用		
支払利息	595	353
為替差損	73	790
支払手数料	—	2,600
投資事業組合運用損	1,948	—
その他	0	—
営業外費用合計	2,617	3,744
経常利益	648,448	526,432
特別利益		
関係会社株式売却益	4,085	—
新株予約権戻入益	332	319
特別利益合計	4,418	319
特別損失		
減損損失	275,798	—
特別損失合計	275,798	—
税引前四半期純利益	377,068	526,751
法人税、住民税及び事業税	169,915	150,315
法人税等調整額	△31,218	15,908
法人税等合計	138,697	166,223
四半期純利益	238,370	360,528



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式80,200株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が200,000千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ19,800千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が892,704千円、資本剰余金が1,178,336千円、自己株式が200,353千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。